

秋田赤十字乳児院

広報誌 第48号

理 念
私たちは、赤十字精神のもとに、子どもたちの権利擁護と最善の利益を守り、心身ともに健やかな成長を図ることのできる愛情のこもった養育環境を提供します。

よちよち ちゃん



実習生にインタビュー

乳児院では、保育士や栄養士の資格取得時、また、教員免許の取得に必要な実習を受け入れています。沐浴や調乳、授乳、病院受診など乳児院ならではの实習内容です。

失敗を恐れず、子どもたちとの触れ合いや関わり合いから沢山のことを学んでほしいと思います。

実習は養育者の初めの一歩。羽ばたけ未来の養育者！



Q、初めての体験

- ★ 調乳、授乳、沐浴は初めての経験だった。ハイハイがまだできない子ども達と関わることも初めてだった。(和光大学 森川)
- ★ お風呂や着替えを手伝ったこと(秋田大学 山田)
- ★ 授乳や病院受診をしたこと(秋田大学 佐々木)
- ★ 授乳、食事介助、オムツ替え(秋田大学 辰)

Q、感動したこと

- ★ 初めは人見知りで泣いていた子どもが、抱っこを求めてきてくれたり、笑顔で呼んでくれたこと(秋田大学 小山)
- ★ 子どもが抱っこやひざに座ったり甘えてくれたこと(秋田大学 山田)
- ★ 赤ちゃんをあやしたら泣き止んで笑顔を見せてくれたこと(秋田大学 佐々木)

🌸 個別対応の紹介 🌸

当院では、大人と子どもが1対1でじっくり遊ぶ「個別対応」の時間を設けています。対象となる子どもと意図的に個別の関わりを行うことで“大切にされる自分”を感じ、安心感・安全感・自己肯定感を高めることが目的です。様々な遊びを通して、職員と子どもが日々関わりを深めています。

「一緒に遊ぼう！」と個別対応職員に誘われ、嬉しそうにお部屋へ向かうKちゃん。今日はお人形の「ぼぼちゃん」と一緒にお医者さんごっこのようです。



「ぼぼちゃんお腹痛いの？」



「もしもししてあげるね」



「背中ももしもししますよ～」

「おはよう」と声をかけると、「今日、誰と遊ぶ？」と声をかけてくれます。初めは、順番が理解できず、自分の番でないと泣いて怒っていた子もいました。回数を重ねるごとに順番があること、「〇〇ちゃんの次だよ」という約束が守られることを理解できるようになりました。記録を読み返すことで、子どもと関係が深まっていく様子を知ることができます。どんな時に子どもが戸惑っているのか、どういう言い方がいいのかなど、自分自身の関わり方を振り返ることができ、反省したり、ほめられて喜んだりしています。

(個別対応職員：田口)

ひよこ組

抱っこ、ハイハイ、伝い歩きと目覚ましい成長を見せてくれるひよこ組の子どもたち。この冬、一歳の誕生日を迎えた子は♪は～るよ来い、は～やく来い♪とあんよの練習に励んでいます。笑顔とともにこれからみんな大きくなあれ♪（大塚）



ぼくたち、もうすぐ出動『元気戦隊アルクンジャー!』

ぱんだ組

インフルエンザの猛威からようやく解放されたぱんだ組。やっと全員そろって戸外で雪遊びができました。やっぱり笑顔で元気が一番! ソリ滑りにおまごと、寒さも忘れて夢中で遊んでいました。お昼ごはんの時間が近付き、「そろそろお部屋に入るよ」と声をかけると「やだよ〜!」とお返事が返ってきました。これから雪遊びを満喫しようね!
(大島)



雪だるまさん こんにちは♪



保育室ダイアリー

ばんび組

節分当日「おには～外」「おにがいなくなったら、福は～内だよ」と子ども達は準備万端。

いざ鬼の登場におっかなびっくり。物陰に隠れたり、立ち尽くしたりする姿もありましたが、最後はみんな協力して退治することができました。

(高橋(ひ))



鬼との記念撮影
…距離を取る男の子たち(^_^)

こそい組

節分にむけて子ども達でお面を作りました。「〇〇は赤おに!」「〇〇は黄色おに!」と好きな色を選んで顔のパーツをのりづけ。「笑っているおにがいいな～」など会話弾ませ、表情豊かなお面の出来上がり! さあ～いざ豆まき本番! 大きなおにの登場にへっぴり腰の泣き虫子おにさんになってしまったことり組さんでした。
(根田)



みんなと一緒に「がおお～」



～ヒトメタニューモウィルス感染症～

当院に猛威を振るったヒトメタニューモウィルスをご紹介

新種のウィルス?と思いきや、実は2001年に発見されていて、近年迅速検査ができるようになり診断がつくようになったため注目され始めました。2歳までに50%、10歳までにはほとんどの人が感染すると言われています。大部分は「風邪」と診断されますが、乳幼児や高齢者では重症化する場合もあります。

流行のピークは3～6月ですが…乳児院では昨年の12月に数名苦しめられました…(;>_<)

＜症状＞ 咳がいつもより長く続く（1週間くらい）→RSウィルスによく似ている！
熱がなかなか下がらない（4～5日）
鼻水がひどい
風邪に似ているがいつもより症状が重い

＜感染経路＞ 飛沫感染…咳やくしゃみによる感染
接触感染…ウィルスのついた手から粘膜へ感染

ワクチンや特効薬がないため、罹患した場合は対症療法となります。

■寒くなり始めると様々な感染症の流行期がやってきます。まずは、

かかってしまったら…
病院を受診し、栄養と水分を
しっかり摂って
安静に過ごしましょう！

予防が大事！
うがい・手洗いを十分に
マスクの着用をしましょう




「私たちは、忘れない。」

～未来につなげるプロジェクト～

このプロジェクトは、東日本大震災から5年を契機として、継続した復興支援と、防災・減災意識の向上を目的に平成27年度から展開しています。
詳しくは、特設サイトをチェック！



救うことを、つづける。

私たちは、忘れない。  日本赤十字社

編集後記 ～スタッフから一言～

毎年工夫を凝らした『おに』が登場する当院の節分は、大人気行事のひとつです。豆まきが行われたホールにいくたびに「おにいる?」と周囲をキョロキョロしている子どもの姿がしばらくの間みられます。

節分が終わると暦の上では春。まだまだ雪の季節ですが、太陽の日差しからは、春を感じられます。節分から立春そして、私の誕生日がやってきます。“Happy birthday”という年齢ではなくなった近年は、産んでくれた母に感謝を込めてメッセージを送っています。

「誕生日、ありがとう」と。

(進藤)

■編集・発行 秋田赤十字乳児院
〒010-0041 秋田市広面字釣瓶町100-3
TEL018-884-1760 FAX 018-884-1762
電話相談 018-884-1761 (8:30～23:00)